

## 行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標5\_人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ】

### 施策 5-1\_学習活動の充実

基本計画		事業番号	細事業名称
5-01-01	生涯学習機会の充実	00338_01	高齢者生きがい創造学園講座事業
5-01-01	生涯学習機会の充実	10285_01	生涯学習大学等の開催
5-01-02	生涯学習関連施設の充実	02610_01	生涯活躍のまち拠点施設管理運営事業
5-01-02	生涯学習関連施設の充実	10134_01	公民館施設環境整備事業
5-01-03	図書館機能の充実	10092_02	図書館利用促進事業
5-01-03	図書館機能の充実	10293_01	図書館施設整備事業
5-01-03	図書館機能の充実	10400_01	ブックスタート実施事業

## 令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	00338_01	
事業名(行目名称)		高齢者生きがい創造学園講座事業費		細事業名	高齢者生きがい創造学園講座事業		
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	学習活動の充実		
	基本計画	生涯学習機会の充実		担当課	社会教育課		
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市に居住するおおむね60歳以上の方			数値	19,432人	
	手段(どうやって)	令和5年度講座開設(高齢者生きがい創造学園講座 16講座) 学園自主サークル活動の支援(サークル 45サークル)					
	目的(どんな状態にしたいのか)	高齢化が急速に進展する社会の中で、学ぶ喜びを共有することによって生きがいを見つける学習機会の提供に努め、参加者の増加を図る。高齢者の豊かな経験と知識・技能を広く社会に還元できるよう学習を促し、ボランティア意識を向上させることにより生涯学習活動を発展させ、まちづくり活動の前進に繋げる。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○報酬 5,569千円 ○職員手当等 929千円 ○共済費 1,154千円 ○報償費 978千円 ○旅費 230千円 ○需用費 326千円 ○役務費 151千円 ○使用料及び賃借料 419千円 ○備品購入費 39千円	
経費		8,761	9,795	9,795			
財源	県・国支出金	3,717	3,534	3,534	0		
	地方債		0	0			
	その他	4,065	5,224	5,224			
	一般財源	979	1,037	1,037			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
講座受講者数			目標値	5000	5000	2500	5000
			実績	2387	2655	1586	3071
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
高齢者の生きがい創造を目標に健康づくり、文化、教養等の内容で講座を実施しているが、講座内容により受講人数にばらつきがあるため、内容の検討が必要。講座生が共に学ぶ喜びを共有し、主体性をもって活動できるよう支援する。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
高齢者の生きがいづくりの場としての役割を担い、高齢者や時代のニーズにあった学習機会の提供に努める。翌年度は、受講生が参加しやすい一回完結の講座や、健康維持のために実技を取り入れ、知識・技能を向上させる新たな講座を開設する。生涯学習大学の講座と調整可能な内容については協議していく。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
現在、高齢者生きがい創造学園は高齢者の新たな人間関係の構築や興味を深める学習の場として重要な役割を担っている。活気ある老後への足掛かりとなるこの活動は生きがい発見のために高齢化の進む現代社会において維持すべき事業である。							

## 令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10285_01	
事業名(行目名称)		生涯学習センター充実費	細事業名	生涯学習大学等の開催		
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	学習活動の充実		
	基本計画	生涯学習機会の充実	担当課	社会教育課		
II 事務事業の実施概要						
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市全市民		数値	116,052人(令和4年3月末現在)	
	手段(どうやって)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学、工業高等専門学校等との連携を図り、日本文学講座、松山大学公開講座、新居浜高専市民講座等、各種講座を開設する。</li> <li>・市民のニーズ、時代の変化に対応した講座や必要課題に関する講座を開設する。</li> <li>・市民への幅広いPRにより新たな層の参加を図るとともに、生涯学習大学の自主的運営を促進する。</li> <li>・生涯学習推進員制度を設け、市民のニーズを反映した各種講座の企画・運営に努める。</li> </ul>				
	目的(どんな状態にしたいのか)	センター職員(指導員)による官制の講座から市民との協働へと、委嘱された生涯学習推進員を中心とした講座の企画立案から、ボランティアの協力員が加わった運営まで、市民スタッフによって運営される「市民による市民のための講座」を目指し、また、教養の向上に加え「ソフト面を中心とした生涯学習のまちづくり、ものづくり」の学習機会を提供し、ふるさとのまちづくり意識の高揚を図る。				
III 投入費用						
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース
			当初予算額	年度末予算額	決算額	
経費		8,521	9,699	9,699		<ul style="list-style-type: none"> <li>○報酬 4,299千円</li> <li>○職員手当等 717千円</li> <li>○共済費 885千円</li> <li>○報償費 1,902千円</li> <li>○旅費 367千円</li> <li>○需用費 410千円</li> <li>○役務費 180千円</li> <li>○委託料 200千円</li> <li>○使用料及び賃借料 399千円</li> <li>○備品購入費 340千円</li> </ul>
財源	県・国支出金	0	0	0	0	
	地方債		0	0		
	その他	2,073	2,544	2,544		
	一般財源	6,448	7,155	7,155		
IV 指標						
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度
延べ受講生数(人) ※目標値は、定員数		目標値	7332	7895	4164	8329
		実績	4984	5264	3415	6777
令和6年度						8390
令和6年度						—
V 事中評価						
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する			やや高い
<p>個人の学習欲求の充足と社会の要請に応える学習機会のバランスに配慮し事業を展開している。行政の担当課との協働も定着してきた。(高齢者・環境・平和学習など)今後も市民スタッフの育成、市民スタッフの育成、当事者意識の啓発などに取り組んでいきたい。</p>						
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向				
<p>現状では受講生の受講料収入によって講師謝金と旅費を支弁する原則でプログラムを策定している。次年度においてもそのバランスを維持し、対応していきたい。高齢者生きがい創造学園の講座との調整可能領域について協議していく。</p>						
VI 事後評価						
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当			
<p>新型コロナ禍の影響が解け、市民の学習意欲が戻ってきた。学習の柱としてSDGsの実現に繋がる学び、ウェルビーイングを実現する学び、新しい時代の流れに取り残されない学びを掲げ、個人の要望と社会の要請のバランスに配慮した事業に取り組んだ。行政課題の解決として、環境、防災、高齢化、障がい者、公民館、平和などをテーマに講座を開設し、担当課と協働して取組む活動が増加してきた。また、市民スタッフである「まなびすと」が積極的に関与し、新しい学習活動も増加している。</p>						

## 令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	02610_01	
事業名(行目名称)		生涯活躍のまち拠点施設管理運営費	細事業名	生涯活躍のまち拠点施設管理運営事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	学習活動の充実			
	基本計画	生涯学習関連施設の充実	担当課	シティプロモーション推進課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	ワクリエ新居浜の運営管理及び施設利用者		数値	約50000人		
	手段(どうやって)	施設の管理運営については、効果効率的かつ柔軟なサービスを提供するため、指定管理者制度を導入することとしている。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	起業家・企業を呼び込み、新たな産業の拠点とするほか、多世代・他分野の方が互いに知識と経験を深め、資格取得や趣味に至る各種講座も開講することで、生涯活躍を目指し未来に向かってチャレンジするすべての人を応援するための拠点施設とする。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		41,119	44,766	44,766		○需用費 1,000千円 ○役員費 63千円 ○委託料 43,703千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	41,119	44,766	44,766			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
施設利用者数		目標値	50000	60000	50000	100000	100000
		実績	55379	102316	52418	113774	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
リカレントルーム等で各種講座やセミナーを開催しているほか、市や周辺施設などと連携してイベントを実施する等、施設の利用促進を図っている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
物価高騰などの影響をふまえて、人件費や光熱水費については増額予定である。また、令和6年度以降は、一般管理費や消費税納税額についても指定管理料に計上する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
令和5年度についても、指定管理者による施設の管理運営及び各種講座、移動水族館や木育キャラバン等のイベントの開催のほか、NHK四国4局主催の「みんなの四国文化祭」をワクリエ新居浜で開催していただく等、オープン以来過去最大の利用者数及び利用料収入となった。今後において、引き続き指定管理者制度を導入し、住民サービスの向上、民間の力を活用した企画と柔軟な施設運営、また、各種収益事業の展開による施設運営を促進していく必要がある。							

## 令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	10134_01		
事業名(行目名称)		公民館施設環境整備事業	細事業名	公民館施設環境整備事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	学習活動の充実			
	基本計画	生涯学習関連施設の充実	担当課	社会教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民(公民館施設等の利便性)		数値	18		
	手段(どうやって)	公民館運営上必要となる修繕等の環境整備希望箇所の中から、緊急性・必要性の高い箇所の修繕や備品整備を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	住民の地域づくりの拠点として、より安全快適な施設環境を作り、市民サービスの向上に資する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		39,921	17,526	17,526		○需用費 5,000千円 ○工事請負費 9,526千円 ○備品購入費 3,000千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	21,200	8,500	8,500			
	その他	2,396	1,026	1,026			
	一般財源	16,325	8,000	8,000			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
施設修繕対応率(修繕対応館数/希望館数)		目標値	100	100	60	100	
		実績	100	100	45	100	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
施設からの希望内容が修繕に満たない希望的内容も多く、優先順位をつけ対応している。また、設備が経年していることからエアコン等の故障など突発的かつ緊急的な対応も必要となっている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
工事請負費については、アセットマネジメントにより対応しているが、需用費、備品購入費については現状維持の中で計画的な執行に努める。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当				
令和5年度は、高津公民館の屋上防水工事を行った。 年度初めに各公民館等の修繕及び備品購入希望調査を実施し、緊急度、重要度、公民館からの希望順位などから優先順位を決定し、計画的に修繕・備品購入を実施した。なお、突発的な故障や破損が発生し、その都度計画を修正しながら対応したため、当初の希望すべてに対応することができなかったが、公民館との協議を通じて、必要性及び緊急性の高いものについては対応することができた。							

## 令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	10092_02	
事業名(行目名称)		図書館充実費	細事業名	図書館利用促進事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	学習活動の充実			
	基本計画	図書館機能の充実	担当課	社会教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	図書館を利用する市民		数値	116,052人		
	手段(どうやって)	多様な資料や情報の充実を図り、豊富な蔵書を基盤に丁寧かつ的確なレファレンズサービスを重視する。また多分野にわたる内容の講座やイベントの開催や関係団体や企業との連携した運営サービスに取り組む。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新鮮で豊かな資料・情報を収集し、地域の情報拠点・生涯学習支援施設として、市民が必要とする資料・情報提供を行う。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○報償費 30千円 ○旅費 126千円 ○需用費 2,359千円 ○役務費 11千円 ○使用料及び賃借料 113千円 ○備品購入費 20,522千円	
経費		22,860	23,161	23,161			
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
一般財源		22,860	23,161	23,161			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
別子銅山記念図書館入館者数			目標値	230000	230000	230000	230000
			実績	145137	174168	88558	188622
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
利用者ニーズや地域特性等に配慮した資料収集と提供に努めるとともに、郷土資料の活用を図るための関連講座をはじめ、生活に役立つ講座や児童を対象にしたイベントや企画展を開催し利用促進を図った。また、子供たちの読書推進を図るため、小中学生のタブレットを活用した新居浜市電子図書館の利活用も開始した。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
市民の資料要求に応え、今後も魅力ある良質の蔵書構成を目指し資料の更新と充実にも努める。また、市民の身近な施設としてサービス機能の充実を図り、非来館型サービスや高齢者や障がい者サービスの充実にも対応していく。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
生涯学習の拠点として、市民ニーズを取り入れながら幅広い分野の資料収集を図るとともに、地域の教育・文化等の発展に寄与する各種イベント等の実施により、市民が様々な学習ができる環境を提供した。また、図書館システム更新によりマイナンバーカード連携サービスを開始するなど利便性の向上に努め、アフターコロナ後の来館者数は着実に増加している。継続して利用者サービスの提供方法の工夫や改善に取り組み、電子書籍等の非来館サービス等の情報発信の充実を図りながら新たな利用者層を取り組んでいく。							

## 令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	10293_01	
事業名(行目名称)		図書館施設環境整備事業		細事業名	図書館施設整備事業		
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	学習活動の充実		
	基本計画	図書館機能の充実		担当課	社会教育課		
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	図書館施設を利用する市民			数値	116,052人	
	手段(どうやって)	施設の老朽化に伴い、施設全体の点検・評価をしながら計画的な補修・更新を実施し施設の長寿命化を図る。令和5年度は、閲覧室防煙スクリーン、直流電源装置(繰越事業)、障がい者用スロープ等の修繕工事を実施する。また、施設内照明器具LED更新工事を実施し、快適な利用環境を提供する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	図書館施設、設備等の整備を行い、図書館利用者の安全性及び利便性の向上を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		5,886	44,087	44,087	○需用費 626千円 ○工事請負費 43,461千円		
財源	県・国支出金	0	0	0			
	地方債	4,400	39,100	39,100			
	その他	408	4,361	4,361			
	一般財源	1,078	626	626			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
修繕達成率(%)			目標値	100	100	100	100
			実績	100	100	70	100
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
閲覧室防煙スクリーン及び直流電源装置更新工事完了し災害時の利用者の安全性が向上した。自家用電気機器の修繕については10月末に修繕を実施し、施設内LED更新工事については、利用を妨げないよう配慮しながら計画的に更新作業を進め、2月中に完了予定となっている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
施設の老朽化に伴い設備の劣化や故障による不具合が進行しており、図書館機能を維持していくために、保守点検結果や故障した場合に及ぼす影響の大きさを考慮し今後想定される劣化について計画的に改修を進める必要がある。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
経年劣化による建物及び設備の改修の必要性がある障がい者用スロープの修繕と自家用電気機器の更新工事を実施した。また施設内照明設備LED化工事を実施し、光熱費経費削減と室内照明の「明るさ」を改善し利用環境の充実を図った。今後も適正なコスト管理で施設の老朽化対策を実施する。							

## 令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	10400_01	
事業名(行目名称)		ブックスタート事業費		細事業名	ブックスタート実施事業		
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	学習活動の充実		
	基本計画	図書館機能の充実		担当課	社会教育課		
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	5か月児と保護者		数値	1,000人		
	手段(どうやって)	保健センターの5か月健康相談時に図書館司書2名が出向き、5か月児と保護者に親子の触れ合いの大切さを説明しながら、ブックスタートパック(図書館で選書した赤ちゃん絵本、読書案内、図書館利用案内等)を手渡す。5か月健康相談時に0歳児(希望者)に図書館カードを発行する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	すべての赤ちゃんと保護者が絵本を介して触れ合うきっかけが生まれ、絵本の楽しさ大切さを知ってもらうことによって、子どもの読書推進を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		1,742	1,669	1,669	○報償費 1,669千円		
財源	県・国支出金	0	0	0			
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	1,742	1,669	1,669			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
配布数(次世代支援計画のニーズ調査による)			目標値	740	740	740	740
			実績	699	746	688	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
令和5年10月からは、司書による手渡しを再開した。ブックスタートパックを受け取った親子が図書館へ足を運んでくれ、乳幼児向けのお話会に参加してくれている傾向も時折見られる。子育てに絵本が大切という流れが、ブックスタート開始から20年近く経ち浸透している。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
子どもの読書推進の基盤ともいえる家庭での乳児期からの絵本タイムを応援するため、今後もブックスタート事業は継続する。子ども時代からの読書推進がひいては大人世代の読書推進にもつながる。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当				
保健センターの乳児5か月児健康相談時に、親子に読み聞かせの大切さを丁寧に伝えながら絵本の入ったブックスタートパックを手渡し、子どもの読書活動の充実を図った。また、図書館利用促進として、図書館PRや赤ちゃんの図書館カードを発行するなどの取り組みにより、子育て世代の家庭での読み聞かせの実施や図書館などのお話会へ参加するきっかけとなっている。							

## 令和〇年度 事務事業評価表

I 基礎情報							
事業名(行目名称)				細事業名			
総合計画	フィールド			施策			
	基本計画			担当課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)			数値			
	手段(どうやって)						
	目的(どんな状態にしたいのか)						
III 投入費用							
実施年度		令和〇年度 決算額(千円)	令和〇年度(千円)			令和〇年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	現執行額	決算額		
経費							
財源	県・国支出金			-			
	地方債			-			
	その他			-			
	一般財源			-			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度中間値	令和〇年度	令和〇年度
		目標値			-		
		実績					-
V 事中評価							
評価視点		妥当性		有効性		効率性	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向					
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向					
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和〇年度)						
事中評価	作成担当者		最終評価責任者				
事後評価	作成担当者		最終評価責任者				